

平成 1 6 年 7 月の災害等に関する資料

平成 1 6 年 8 月 9 日

国土交通省河川局

目 次（案）

1 . 平成16年7月豪雨災害について	1
(1) 新潟・福島豪雨による洪水被害状況について	1
(2) 福井豪雨による洪水被害状況について	9
(3) 新潟・福島豪雨による土砂災害状況について	15
(4) 福井豪雨による土砂被害状況について	20
(5) 台風10号による土砂災害状況について	26
2 . 豪雨災害に対する防災対策推進のため検討すべき課題及びその対策について	30

新潟県管理河川で破堤 11箇所等。(さらに調査中)

その中で、特に大きな被害をもたらしたのは どの箇所。

✕ 破堤箇所詳細						
番号	水系名	河川名	破堤位置		破堤延長(m)	発生日時
			左右岸	地内名		
	信濃川	能代川	左岸	村松町下蒲原	40	7月13日 9:00頃
	信濃川	五十嵐川	左岸	三条市諏訪(曲淵)	117	7月13日 13:07頃
	信濃川	刈谷田川	左岸	中之島町中之島 (今町大橋下流)	50	7月13日 13:00頃
	信濃川	刈谷田川	右岸	見附市明晶町 (町屋大橋下流)	42	7月13日 14:20頃
	信濃川	刈谷田川	左岸	見附市河野町	70	7月13日 14:20頃
	信濃川	刈谷田川	左岸	見附市宮之原	30	7月13日 時間未確認
	信濃川	稚児清水川	左岸	見附市池ノ島	95	7月13日 13:00頃
	信濃川	稚児清水川	右岸	見附市池ノ島	50	7月13日 13:00頃
	信濃川	猿橋川	左岸	長岡市富島町	14	不明
	信濃川	中之島川	左岸	中之島町	6	不明
	信濃川	中之島川	右岸	中之島町	6	不明

他にも、河岸損傷等が多数ある



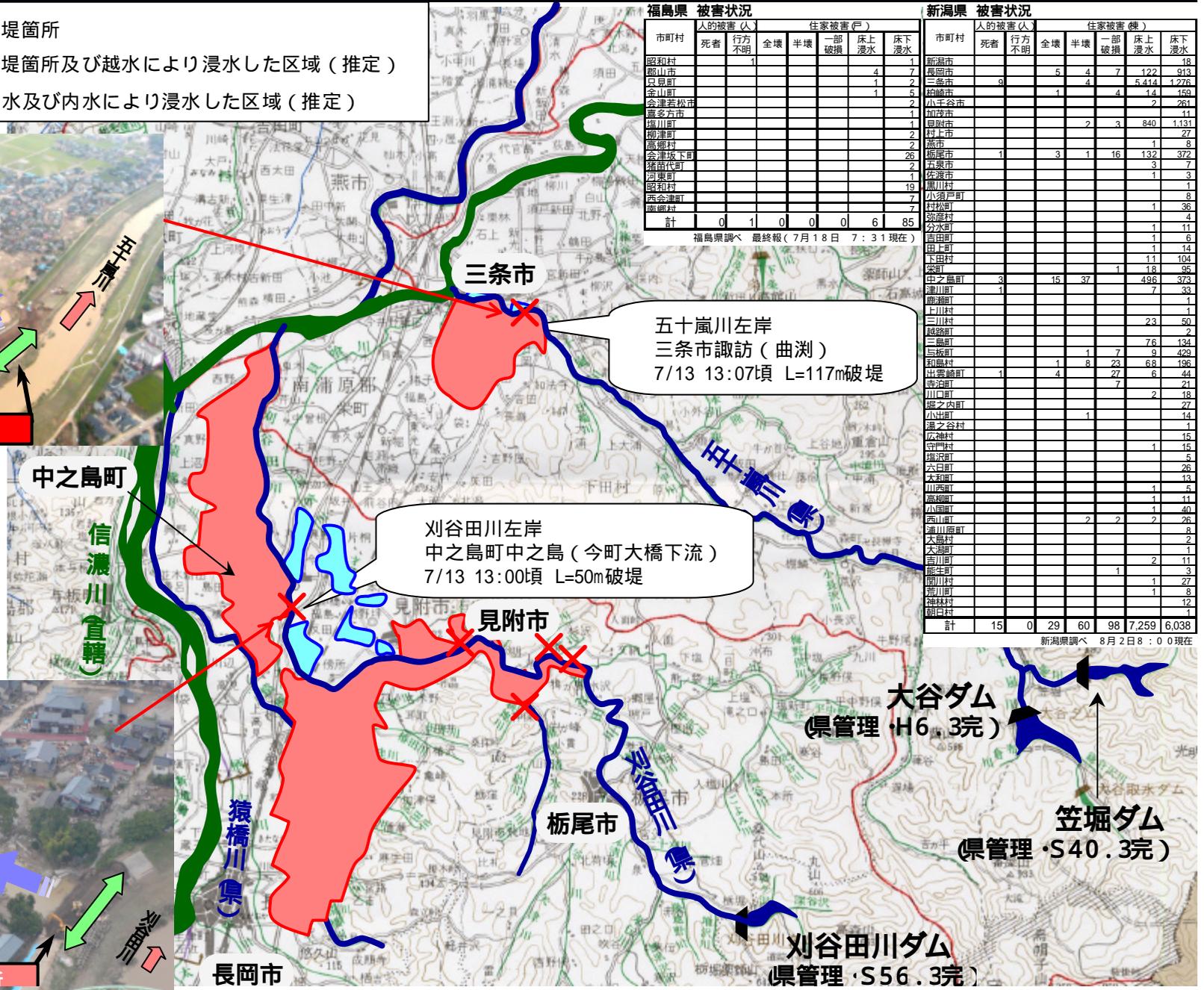
死者 15人、被害家屋 1万 3000戸以上の大被害

- 凡例) **×** : 破堤箇所
○ : 破堤箇所及び越水により浸水した区域 (推定)
● : 越水及び内水により浸水した区域 (推定)

破堤後 2日目の状況



破堤後 2日目の状況



福島県 被害状況

市町村	人的被害 (人)		住家被害 (戸)				
	死者	行方不明	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
昭和村		1					
飯沼市						4	1
見沼町						1	2
金山町						1	5
会津若松市						1	2
喜多方市							
堀川町							2
柳津町							2
高郷村							26
会津坂下町							2
猿蓑町							1
河東町							19
昭和村							7
西会津町							7
高郷村							7
計	0	1	0	0	0	6	85

福島県調べ 最終報 (7月18日 7:31現在)

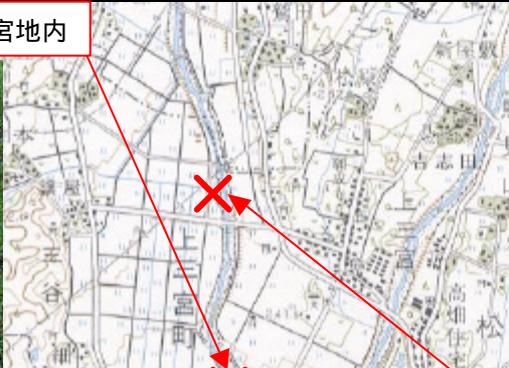
新潟県 被害状況

市町村	人的被害 (人)		住家被害 (棟)					
	死者	行方不明	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	
新潟市			5	4	7	122	91	
三条市	9			4		5,414	1,276	
柏崎市			1		4	14	159	
小千谷市						2	261	
加茂市							11	
魚沼市			2	3		840	1,131	
村上市							27	
村上市							8	
村上市							1	
村上市			3	1	16	132	372	
五泉市						3	7	
佐渡市							3	
鳳川町							1	
小須戸町							8	
村上市							4	
村上市							36	
村上市							1	
村上市							11	
村上市							6	
村上市							14	
村上市							11	
村上市							104	
村上市							18	
村上市							373	
村上市	3		15	37		496	7	
村上市							33	
村上市							1	
村上市							23	
村上市							50	
村上市							2	
村上市							76	
村上市							134	
村上市							9	
村上市							429	
村上市							196	
村上市	1		4	8	23	6	44	
村上市							21	
村上市							18	
村上市							27	
村上市							14	
村上市							1	
村上市							15	
村上市							1	
村上市							15	
村上市							5	
村上市							26	
村上市							13	
村上市							5	
村上市							11	
村上市							1	
村上市							40	
村上市							26	
村上市							2	
村上市							1	
村上市							11	
村上市							3	
村上市							27	
村上市							8	
村上市							12	
村上市							1	
計	15	0	29	60	98	7,259	6,038	

新潟県調べ 8月2日8:00現在

福島県管理河川で5箇所堤防等一部損傷

濁川 喜多方市上三宮地内



X 堤防等一部損傷箇所詳細						
番号	水系名	河川名	破堤位置		損壊延長(m)	発生日時
			左右岸	地内名		
	阿賀川	濁川	右岸	喜多方市慶徳寺町	160	7月17日 11:45確認
	阿賀川	濁川	右岸	喜多方市上三宮町	40	7月18日 5:00確認
	阿賀川	濁川	右岸	喜多方市三谷	107	7月18日 5:00確認
	阿賀川	田付川	左岸	喜多方市豊川町	100	7月17日 15:00確認
	阿賀川	滝谷川	右岸	柳津町湯八木沢	54	7月13日 14:00確認

濁川 喜多方市三谷地内

濁川 喜多方市慶徳地内



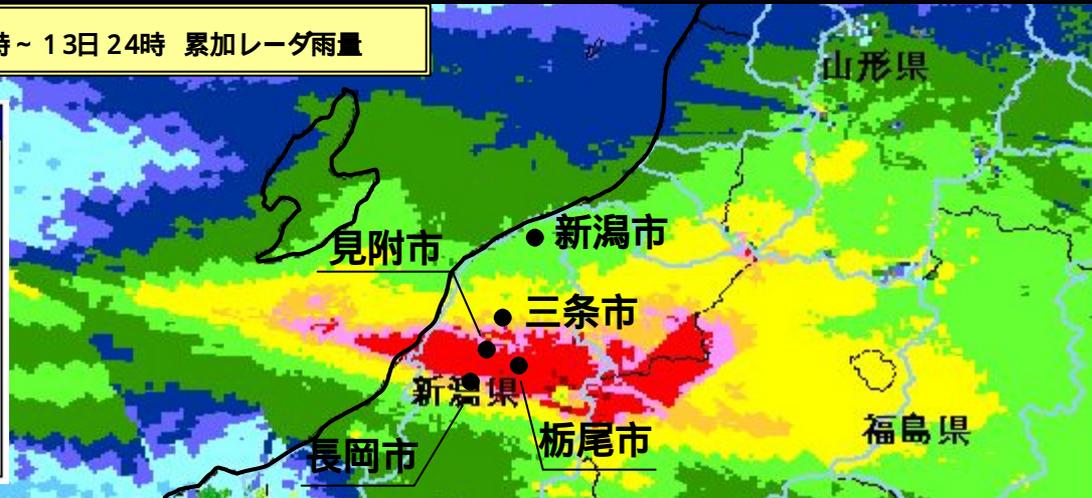
田付川 喜多方市豊川地内

滝谷川 柳津町湯八木沢地内

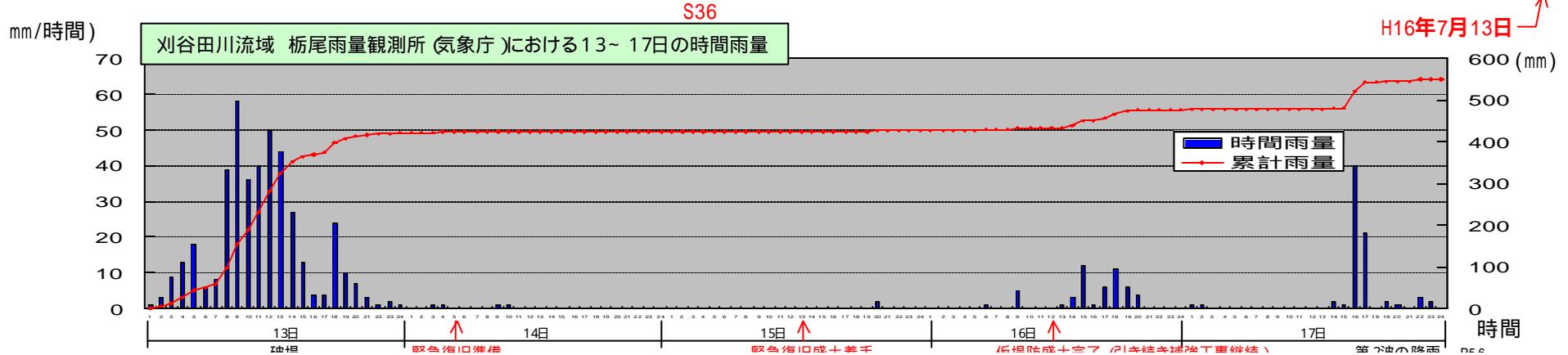
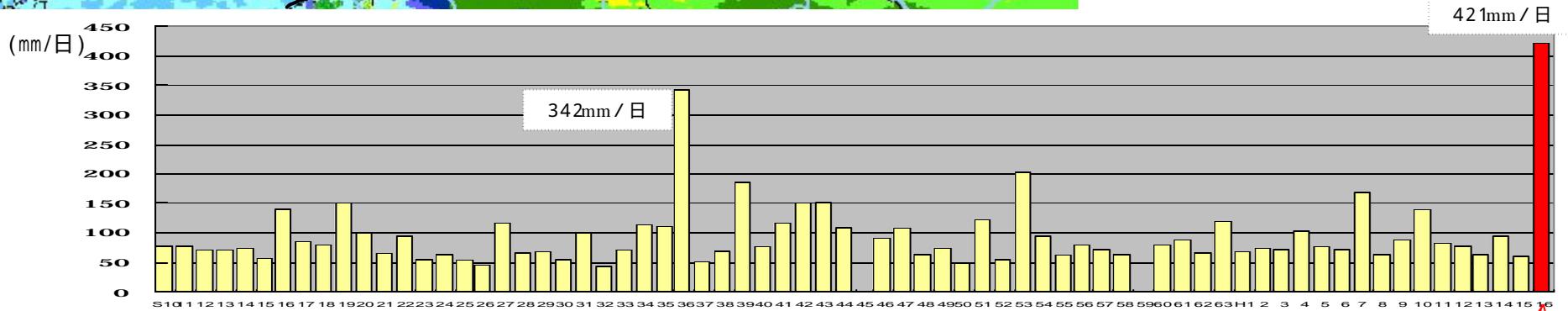


前線の停滞により狭い範囲に集中豪雨をもたらし、 平年の7月の1ヶ月分の降水量を大きく上回る量がたった1日間に降った

7月13日 0時～13日 24時 累加レーダ雨量



栃尾雨量観測所（気象庁）における雨量データでは、昭和10年以降、最も多かった昭和36年の年最大日雨量の約1.2倍もの降雨を記録



速報

(7/30 9:00現在)

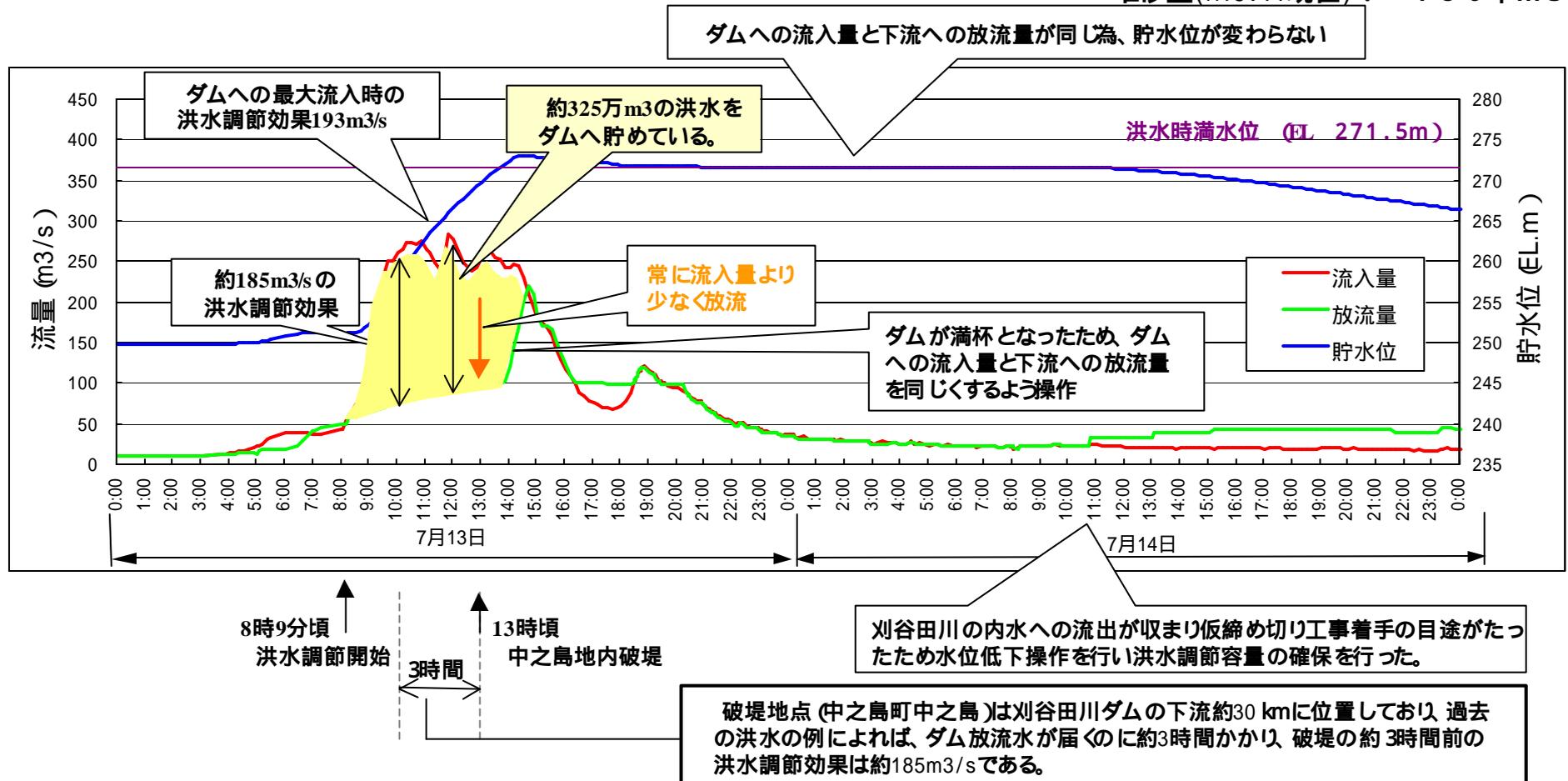
今後の調査により数値等が
変わることがあります。

刈谷田川 刈谷田川ダム

信濃川水系刈谷田川においては、刈谷田川ダムで193m³/s
(最大流入量 275m³/s 放流量 82m³/s)
を調節しており約325万m³の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

刈谷田川ダム諸元

総貯水容量 : 4,450千m³
洪水調節容量 : 3,250千m³
利水容量 : 900千m³
堆砂容量 : 300千m³
堆砂量(H15.11現在) : 180千m³



速報

(7/30 9:00現在)

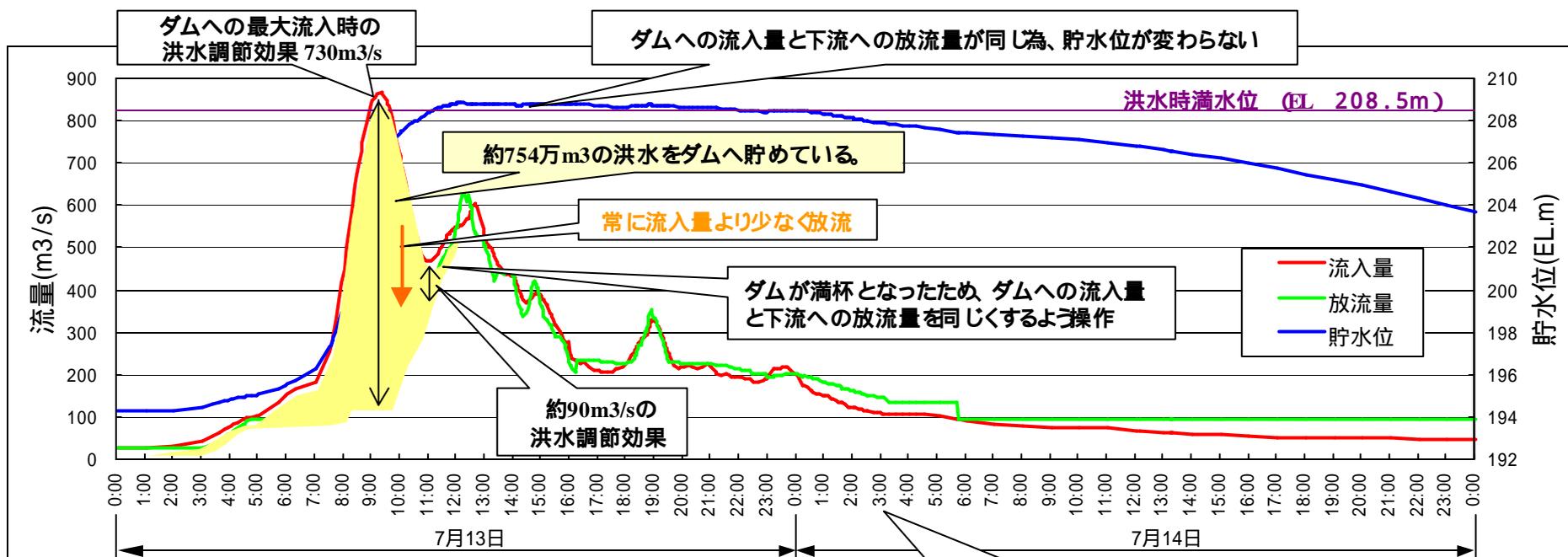
今後の調査により数値等が
変わることがあります。

五十嵐川 笠堀ダム

信濃川水系五十嵐川においては、笠堀ダムで730m³/s
(最大流入量850m³/s 放流量120m³/s)
を調節しており約754万m³の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

笠堀ダム

総貯水容量 : 15,400千m³
洪水調節容量 : 7,600千m³
利水容量 : 5,700千m³
堆砂容量 : 2,100千m³
堆砂量(H15.8現在) : 1,839千m³



4時30分頃
洪水調節開始

13時7分頃
諏訪地内破堤

2時間

五十嵐川の内水への流出が収まり仮締め切り工事着手の目途がたったため、水位低下操作を行い洪水調節容量の確保を行った。

破堤地点(三條市諏訪)は笠堀ダムの下流約2.5kmに位置しており、過去の洪水の例によれば、ダム放流水が届くのに約2時間かかり、破堤の約2時間前の洪水調節効果は約90m³/sである。

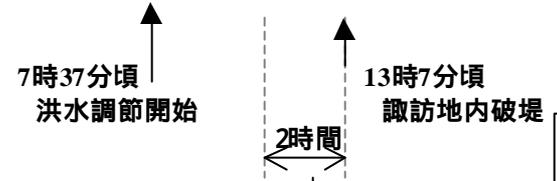
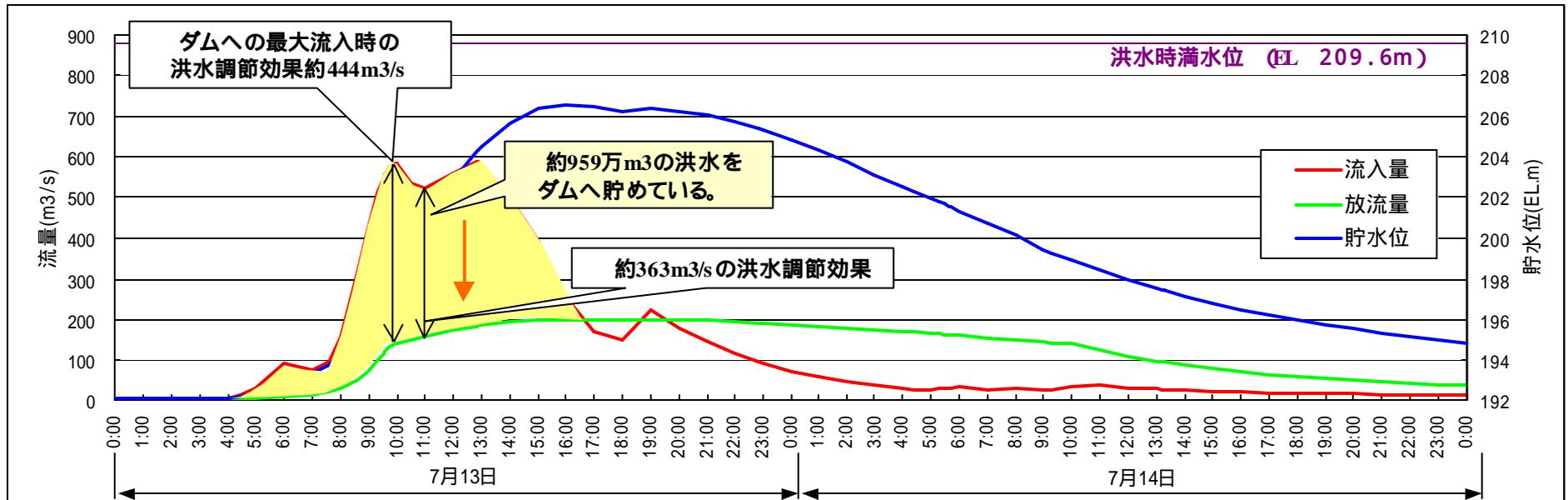
速報
(7/30 9:00現在) 今後の調査により数値等が
変わることがあります。

五十嵐川 大谷ダム (自然調節 固定の開口部を持つ、人による操作を行わない形態のダム)

信濃川水系五十嵐川においては、大谷ダムで444m³/s
(最大流入量585m³/s 放流量141m³/s)
を調節しており約959万m³の洪水を貯留し、下流の氾濫量の軽減に寄与。

大谷ダム

総貯水容量	: 21,100千m ³
洪水調節容量	: 13,750千m ³
利水容量	: 3,300千m ³
堆砂容量	: 4,050千m ³
堆砂量(H15.11現在)	: 971千m ³



破堤地点(三條市諏訪)は大谷ダムの下流約2.5kmに位置しており、過去の洪水の例によれば、ダム放流水が届くのに約2時間かかり、破堤の約2時間前の洪水調節効果は約363m³/sである。

新潟県 破堤箇所への早急な復旧へ努力。国も技術的支援、資機材を提供。

- 五十嵐川 三条市 - (第二波の出水に間に合い、被害の拡大を防止)

被災状況



7月13日撮影

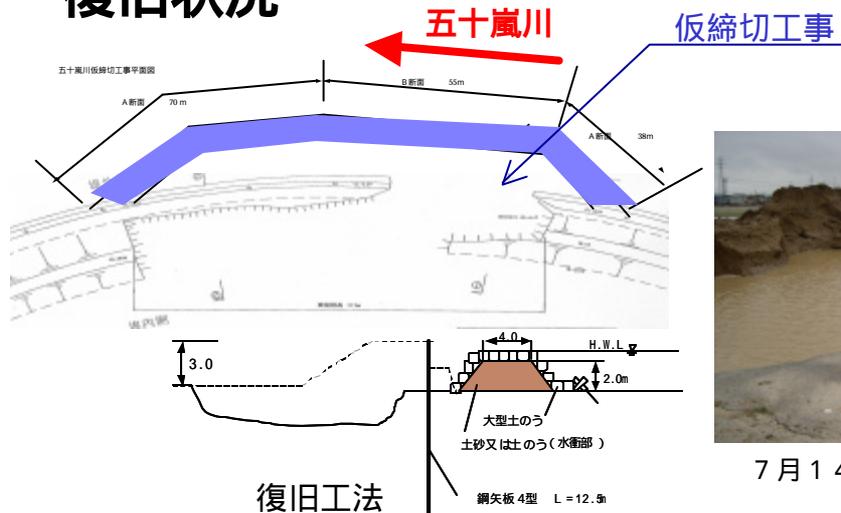


7月14日撮影



7月14日撮影

復旧状況



7月14日 18:00撮影

仮締切工事完了

早急な復旧により17日
19時00分頃のピーク
水位にも対応

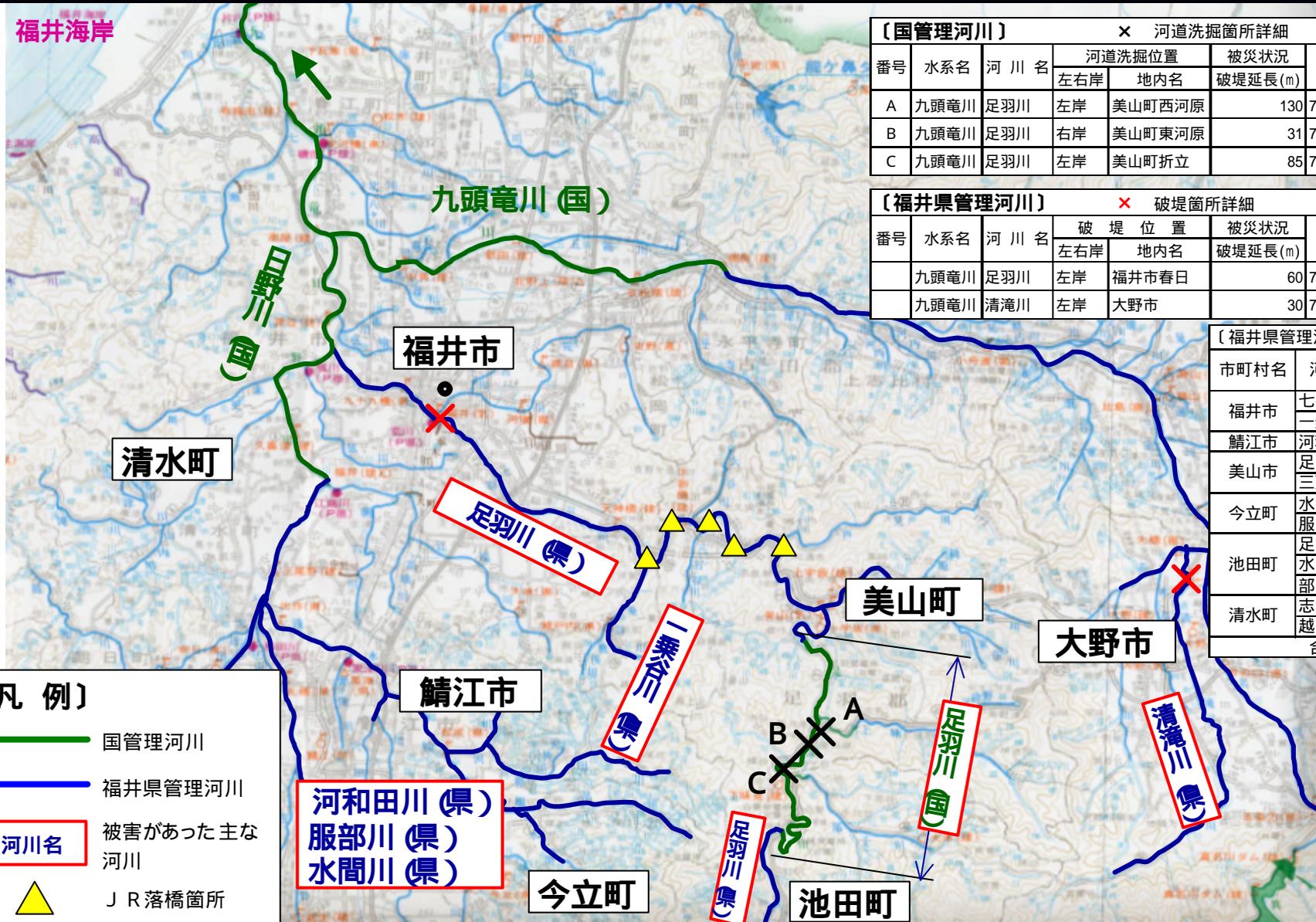


7月17日 18:00撮影

河川の水位が再び上昇

7月16日 17:00
仮締切完了

福井県管理の足羽川等で破堤 2箇所、護岸破損や溢水等多数。
 特に福井市内の破堤により、大きな被害。
 足羽川の国管理区間でも河道洗掘 3箇所。



〔国管理河川〕 × 河道洗掘箇所詳細

番号	水系名	河川名	河道洗掘位置		被災状況 破堤延長(m)	発生日時	
			左右岸	地内名		破堤延長(m)	発生日時
A	九頭竜川	足羽川	左岸	美山町西河原	130	7月18日	不明
B	九頭竜川	足羽川	右岸	美山町東河原	31	7月18日	不明
C	九頭竜川	足羽川	左岸	美山町折立	85	7月18日	不明

〔福井県管理河川〕 × 破堤箇所詳細

番号	水系名	河川名	破堤位置		被災状況 破堤延長(m)	発生日時	
			左右岸	地内名		破堤延長(m)	発生日時
	九頭竜川	足羽川	左岸	福井市春日	60	7月18日	13:35頃
	九頭竜川	清滝川	左岸	大野市	30	7月18日	不明

〔福井県管理河川〕 護岸破損

市町村名	河川名	箇所数
福井市	七瀬川	1
	一乗谷川	7
鯖江市	河和田川	10
美山市	足羽川	5
	三万谷川	1
今立町	水間川	2
	服部川	4
池田町	足羽川	1
	水海川	1
清水町	部子川	2
	志津川	1
	越知川	1
合計		36

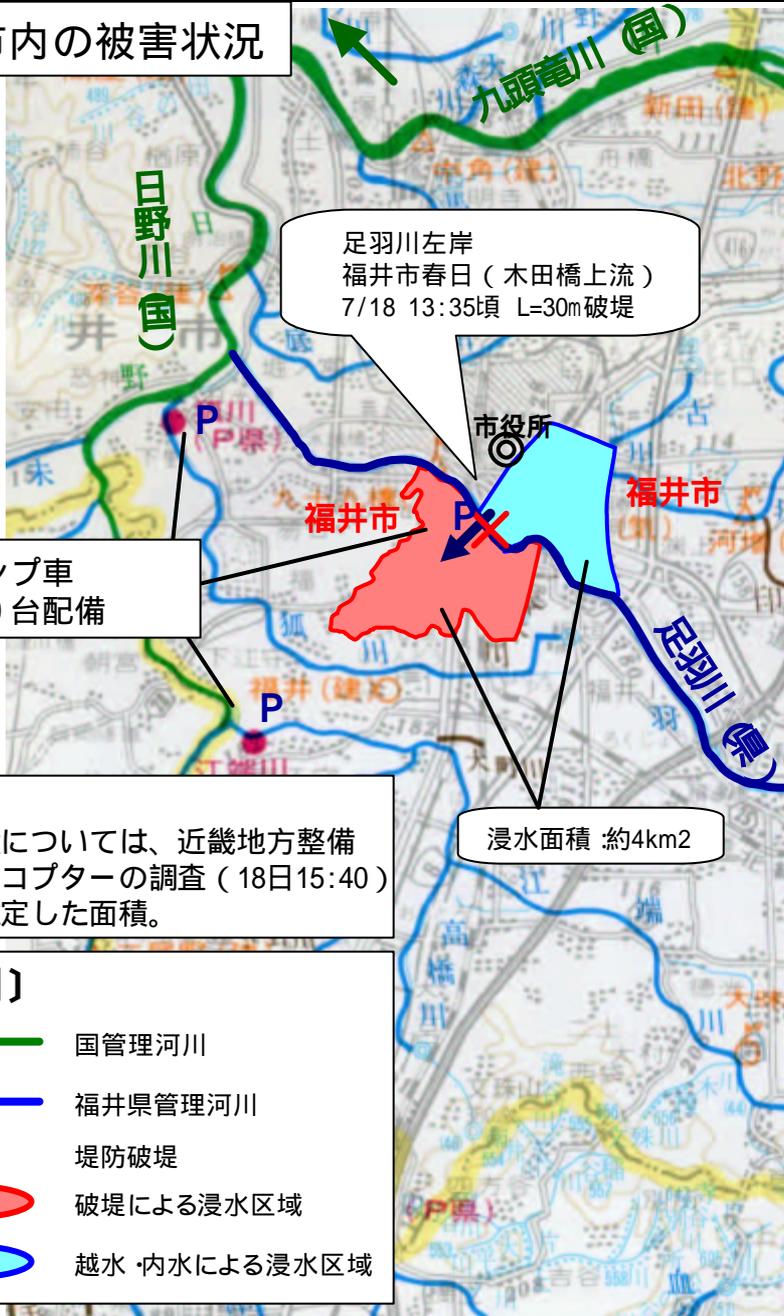
〔凡例〕

- 国管理河川 (Green line)
- 福井県管理河川 (Blue line)
- 河川名 (Red box) 被害があった主な河川
- J R 落橋箇所 (Yellow triangle)

河和田川 (県)
 服部川 (県)
 水間川 (県)

死者3人、行方不明者2人、被害1万4000世帯以上の大被害

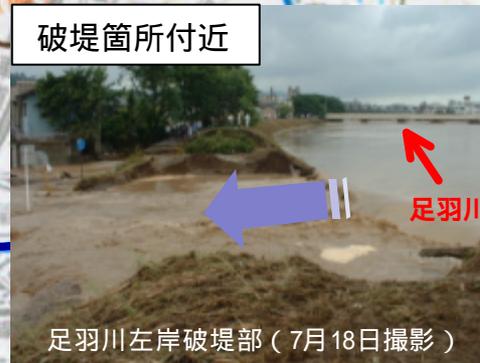
福井市内の被害状況



福井県 被害状況

市町村	人的被害(人)		住家被害(棟)				
	死者	行方不明	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
福井市			22	40	97	3,254	8,059
武生市						4	46
大野市						10	48
鯖江市		1	4	20	19	445	818
美山町	1	1	33	65		233	156
松岡町						2	5
永平寺町							10
今立町	1		2	6	1	353	584
池田町			4	10	1	20	91
朝日町							6
宮崎村							3
清水町	1					4	52
計	3	2	65	141	118	4,325	9,878

福井県調べ 8月2日9:00現在



河川管理施設等の被災状況 (清滝川・足羽川・一乗谷川・河和田川)

他の地域の被害状況



清滝川左岸が破堤 大野市友江 (18日撮影)



足羽川右岸堤防が護岸破損 (19日撮影)



足羽川が越水し、堤内地を流下
美山町高田上空 (18日撮影)



一乗谷川を閉塞した土砂の撤去状況 (22日撮影)



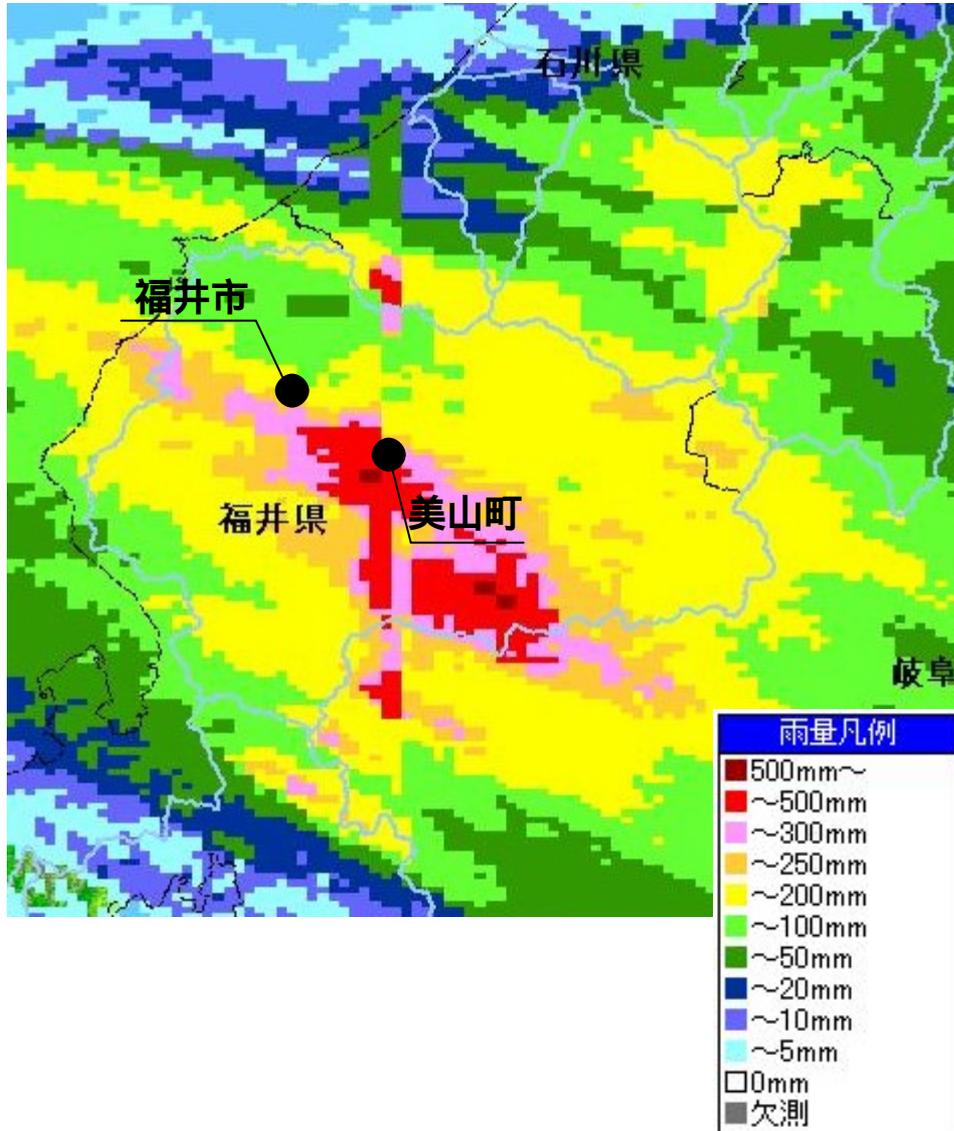
一乗谷川が土石により閉塞したため、
家屋を流下
福江市浄教寺町上空
(20日撮影)



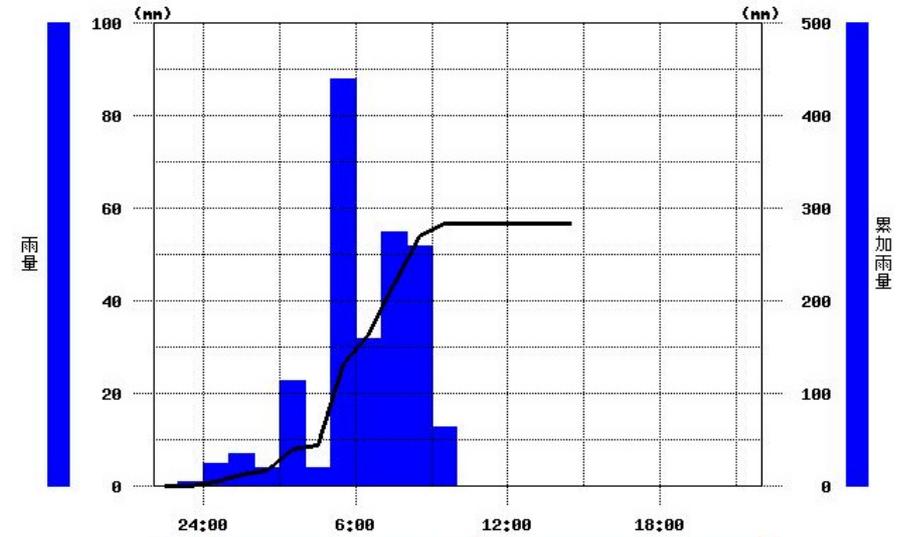
河和田川が越水し、堤内地を流下
鯖江市河和田町上空 (19日撮影)

前線の停滞により狭い範囲に集中豪雨をもたらし、 福井県美山町を中心に豪雨を観測

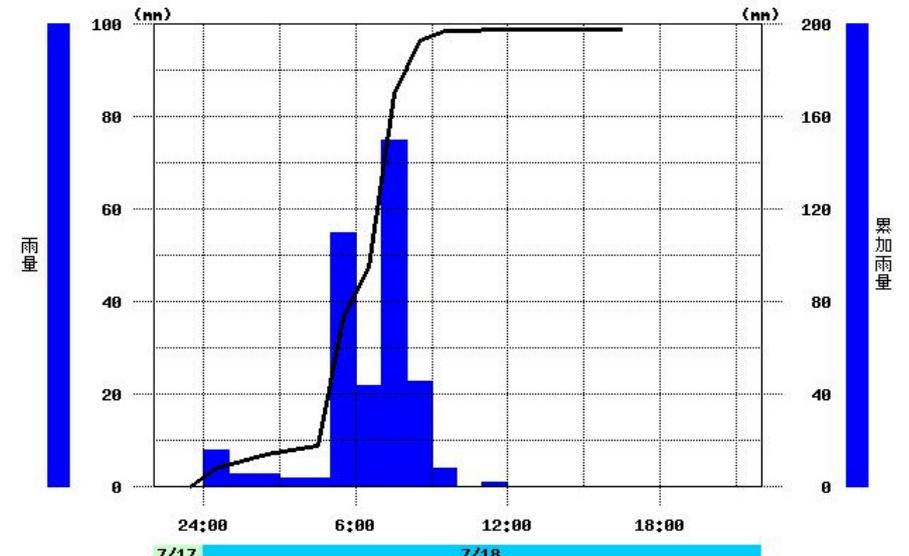
累加レーダ雨量 (18日 0~ 24時)



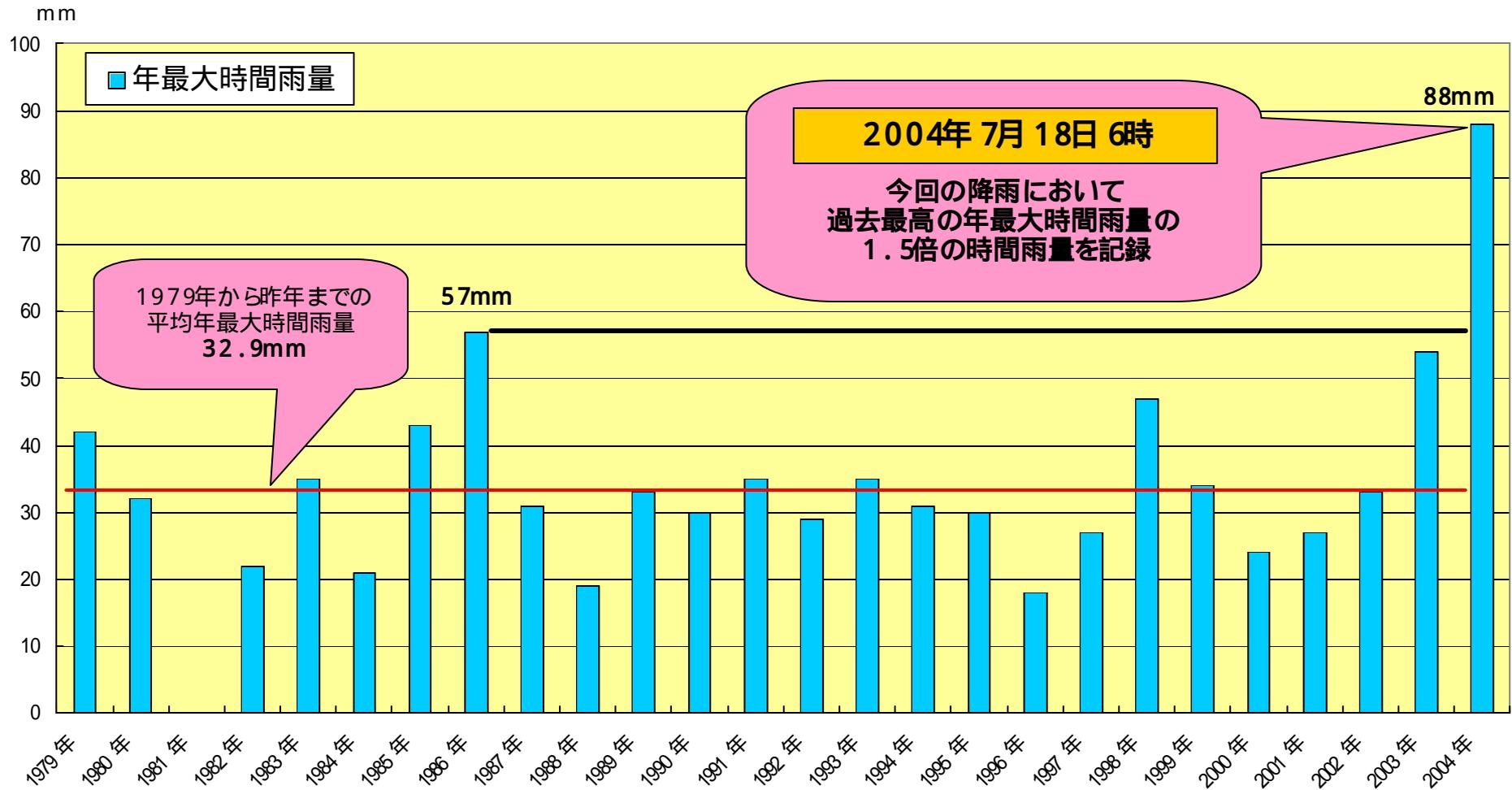
美山観測所 (気象庁)



福井観測所 (気象庁)



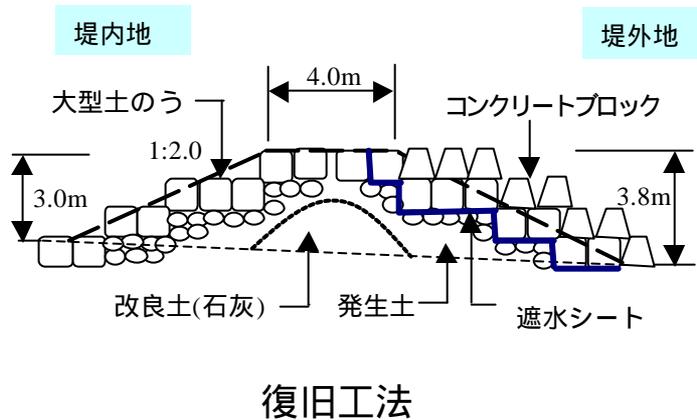
美山雨量観測所 (気象庁)における雨量データでは、1979年以降、最も多かった1986年の年最大時間雨量の約1.5倍を記録



被災状況



復旧状況 (20日 3時 30分仮復旧完了)



平成16年7月新潟・福島豪雨による土砂災害の状況について

河川局 砂防部 保全課

1.被害状況

平成16年7月新潟・福島豪雨(7月13日～17日発生)

(8月4日11時現在) 詳細については確認中

発生災害	都道府県名	発生 件数	人的被害			家屋損壊数			被害状況等	避難状況
			死者	行方 不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊		
地すべり	秋田県	1							村道埋塞	
がけ崩れ	秋田県	4								
土石流	秋田県	1							町道一部埋塞	
地すべり	山形県	9							法面に亀裂及び崩壊	
がけ崩れ	山形県	21								
土石流	山形県	4							県道に土砂流出	
地すべり	福島県	5							流水の浸食によりコルゲート水路破損ほか	
がけ崩れ	福島県	7							作業小屋被災(農機具他)及び崩壊	
土石流	福島県	1							町道に土砂流出	
地すべり	新潟県	61	1			1	3	5	国道290号全面通行止	13日14:00避難勧告20世帯60人避難中(8月3日17:00現在)
がけ崩れ	新潟県	278	1		1	3	1	12		
土石流	新潟県	8						5	山腹崩壊 2件 土砂流 2件	
計		400	2		1	4	4	22		

(人的被害)

新潟県：死者・・・2名(出雲崎町大字中山1名、栃尾市大字北荷頃1名)
負傷者・・・1名(西山町大字大津1名)

2.砂防関係対応状況

- ・7月14日 内閣府防災担当大臣を団長とする現地調査団の一員として砂防部保全課課長補佐が随行して調査(新潟)。
- ・7月15日 国土技術政策総合研究所砂防研究室、土木研究所新潟試験所が現地調査(新潟)。
- ・7月18日～19日 NPO法人新潟県砂防ボランティア協会が新潟県の依頼により土砂災害調査を実施(新潟)。
- ・7月21日 国土技術政策総合研究所砂防研究室、土木研究所土砂管理グループ及び土木研究所新潟試験所が現地調査(新潟)。
- ・7月22日 国土技術政策総合研究所砂防研究室が現地調査(新潟)。

平成16年7月新潟・福島豪雨 土砂災害の概要 (速報)

河川局 砂防部 保全課

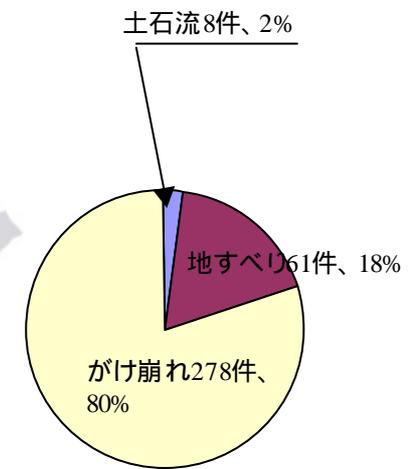
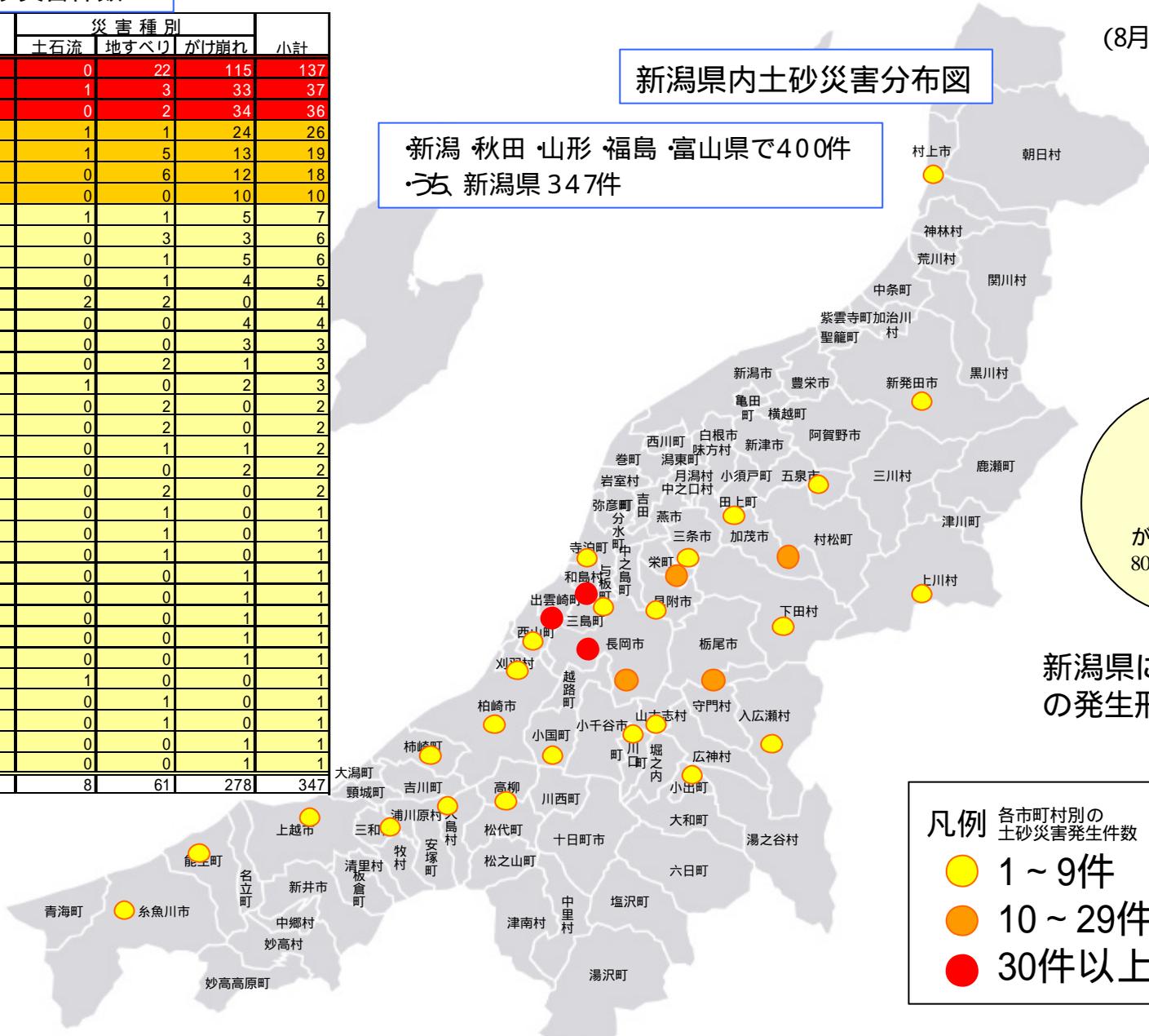
(8月4日 11:00現在)

新潟県内土砂災害件数

整理番号	市町村名	災害種別			小計
		土石流	地すべり	がけ崩れ	
1	和島村	0	22	115	137
2	三島町	1	3	33	37
3	出雲崎町	0	2	34	36
4	長岡市	1	1	24	26
5	栃尾市	1	5	13	19
6	栄町	0	6	12	18
7	加茂市	0	0	10	10
8	見附市	1	1	5	7
9	寺泊町	0	3	3	6
10	西山町	0	1	5	6
11	三条市	0	1	4	5
12	下田村	2	2	0	4
13	田上町	0	0	4	4
14	小国町	0	0	3	3
15	上川村	0	2	1	3
16	与板町	1	0	2	3
17	入広瀬村	0	2	0	2
18	浦川原村	0	2	0	2
19	高柳町	0	1	1	2
20	村上市	0	0	2	2
21	山古志村	0	2	0	2
22	糸魚川市	0	1	0	1
23	大島村	0	1	0	1
24	柿崎町	0	1	0	1
25	柏崎市	0	0	1	1
26	刈羽村	0	0	1	1
27	川口町	0	0	1	1
28	小出町	0	0	1	1
29	五泉市	0	0	1	1
30	佐渡市	1	0	0	1
31	上越市	0	1	0	1
32	十日町市	0	1	0	1
33	能生町	0	0	1	1
34	新発田市	0	0	1	1
	小計	8	61	278	347

新潟県内土砂災害分布図

新潟・秋田・山形・福島・富山県で400件
うち新潟県 347件



新潟県における土砂災害の発生形態

凡例 各市町村別の土砂災害発生件数

- 1～9件
- 10～29件
- 30件以上

新潟県内土砂災害写真



とちおしおおあざきたにごろ
栃尾市大字北荷頃

死者 1名、全壊 1棟



新潟県内土砂災害写真



ながおかしうらせ
長岡市浦瀬

人家一部損壊 5戸、床上浸水 10戸、床下浸水 20戸



砂防施設が効果を発揮した事例 (新潟県)



平成16年7月福井豪雨による土砂災害の状況について

河川局 砂防部 保全課

1.被害状況

平成16年7月福井豪雨(7月17日～18日発生)

(8月4日11時現在) 詳細については確認中

発生災害	都道府県名	発生 件数	人的被害			家屋損壊数			被害状況等	避難状況
			死者	行方 不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊		
土石流	長野県	1								
地すべり	富山県	1							道路・宅地間の石積擁壁崩壊	
がけ崩れ	富山県	2							県道通行止め1箇所	
土石流	富山県	3							砂防えん堤損傷1箇所、県道通行止め1箇所	
土石流	石川県	6							町道路肩損壊	
地すべり	福井県	1	0	0	0	0	0	0		
がけ崩れ	福井県	27	0	0	0	1	4	8		<8/4(9:00現在)> 避難勧告は全て解除 被災市町村合計で自主避難 84人
土石流	福井県	69	0	1	0	2	28	32		
計		110	0	1	0	3	32	40		

(人的被害)
福井県：行方不明者・・・1名(鯖江市上河内町河和田地区1名)

2.砂防関係対応状況

- ・7月21日 国土交通副大臣を団長とする現地調査団の一員として砂防部保全課課長補佐が随行して調査(福井)
- ・7月22日～23日 国土技術政策総合研究所砂防研究室及び土木研究所土砂管理グループが現地調査(福井)

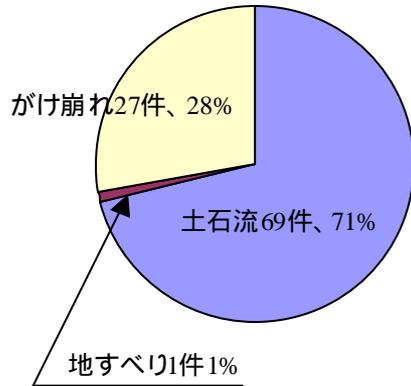
平成16年7月福井豪雨による土砂災害の概要(速報)

河川局 砂防部 保全課

福井県内土砂災害分布図

(8月4日 11:00現在)

福井県における土砂災害の発生形態

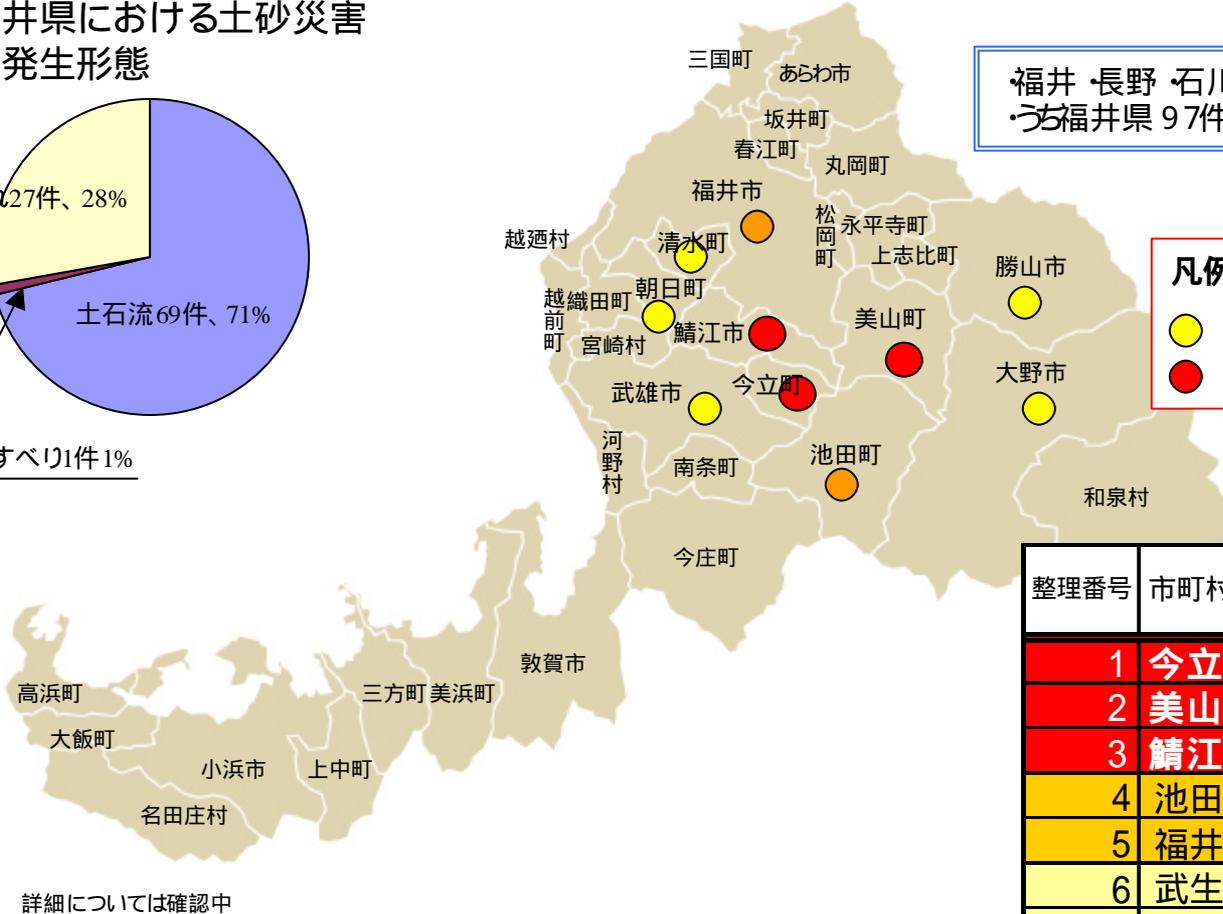


福井・長野・石川・富山県で110件
うち福井県 97件

凡例 各市町村別の土砂災害発生件数

- (1~4件) : ● (5~9件)
- (10件以上)

福井県内土砂災害件数

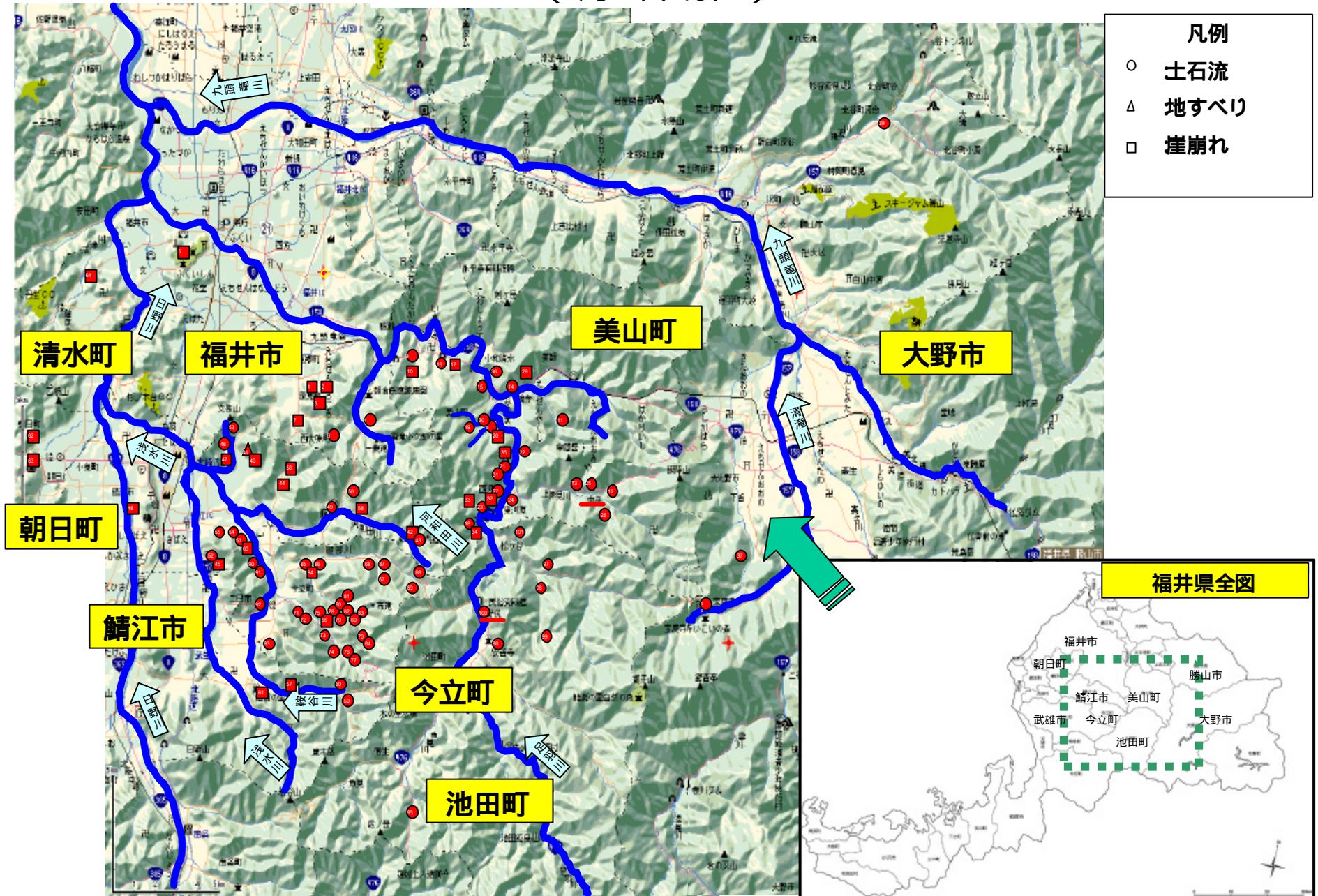


詳細については確認中

整理番号	市町村名	災害種別			小計
		かけ崩れ	地すべり	土石流	
1	今立町	3	0	27	30
2	美山町	5	0	19	24
3	鯖江市	8	1	9	18
4	池田町	0	0	7	7
5	福井市	5	0	2	7
6	武生市	2	0	2	4
7	大野市	1	0	2	3
8	朝日町	2	0	0	2
9	清水町	1	0	0	1
10	勝山市	0	0	1	1
	小計	27	1	69	97

(8月4日 11:00現在)

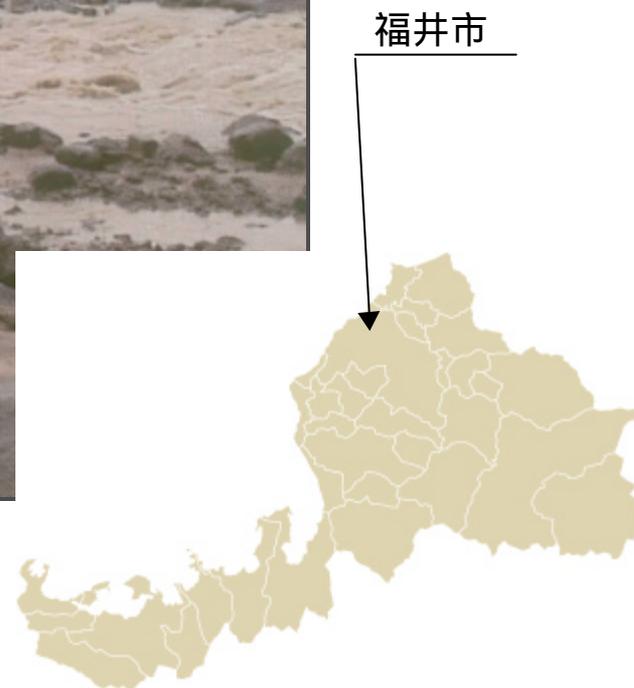
福井県内土砂災害発生箇所位置図) (8月3日現在)



福井県内土砂災害写真



福井市浄教寺町
流木をともなった土石流で家屋・道路等が被災。



福井県内土砂災害写真



今立町

今立町市野々
土石流により 0.8kmに渡って河川埋塞、家屋 11戸半壊。

砂防施設が効果を発揮した事例 (福井県)



一部の写真は国際航業株式会社撮影

砂防えん堤が土砂、流木を捕捉し、下流の被害を軽減した。

平成16年台風10号豪雨による土砂災害の状況について

土砂災害等の被害状況 (8月5日7時00分現在)

都道府県名	発生災害	発生 件数	人的被害			家屋損壊数			被害状況等	避難状況
			死者	行方 不明	負傷者	全壊 流出	半壊	一部 損壊		
徳島県	土石流	4		2		1	2	2		嫁ヶ滝避難勧告
	地すべり	2				5	2	3	国道193号橋(符殿橋) 流失 天然ダム形成	上那賀地区全世帯自主 避難(避難勧告)
	がけ崩れ	5						1	その他非住家 3戸被災 壊	1世帯自主避難
高知県	土石流	5				1	1	6		現在帰宅
	地すべり	1						1		現在帰宅
	がけ崩れ	9				1		8	土砂崩落	自主避難2世帯(現在帰 宅)
愛媛県	土石流	2							橋梁流失 15名孤立	2日15:30仮橋復旧
	がけ崩れ	14						5		3世帯が避難
広島県	土石流	1								
	がけ崩れ	3			1					3世帯5人自主避難
山口県	がけ崩れ	3								
大分県	地すべり	1							村道一部破損	
静岡県	がけ崩れ	1							斜面下の墓地に土砂堆積	
	合計	51		2	1	8	5	26		

・人的被害

広島県 : 負傷者・・・1名(呉市山手1丁目 1名) 腰 後頭部打撲(男77歳入院)

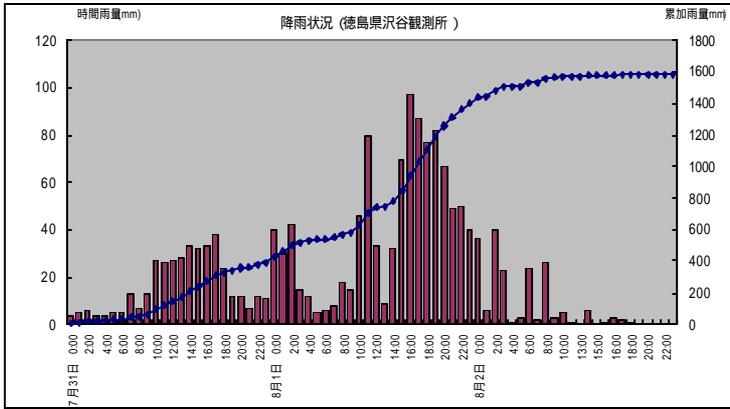
徳島県 : 行方不明・・・2名(木沢村大字坂州)

・主な家屋被害等

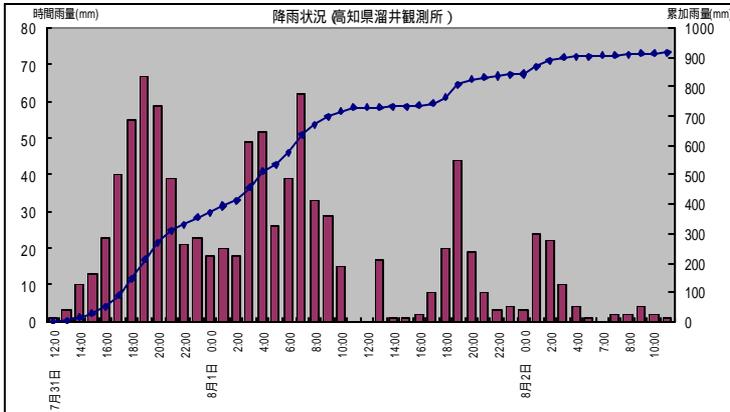
徳島県上那珂町大字白石 那珂市宇地区 全壊5戸 半壊2戸 一部破損3戸

詳細については確認中

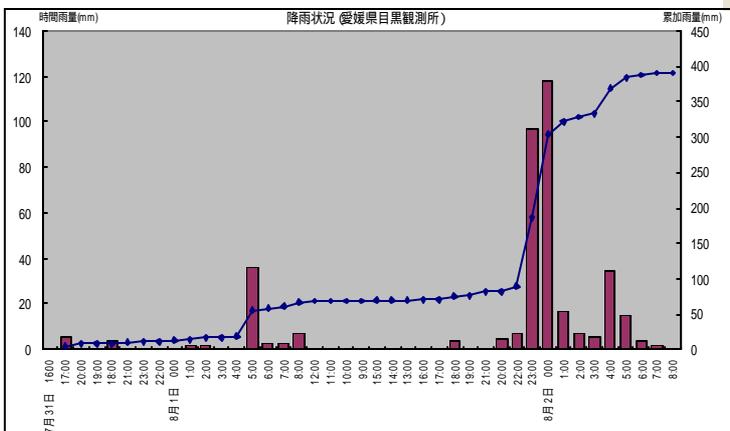
平成16年7月31日～8月2日 台風10号 四国県内土砂災害発生の概要 (速報)



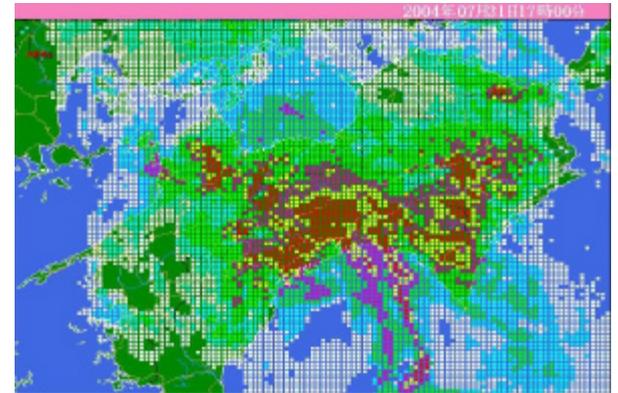
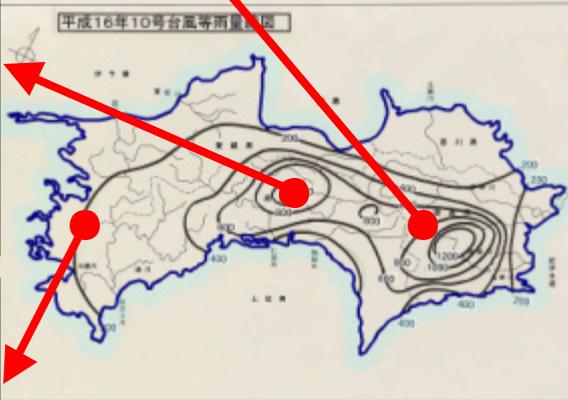
徳島県沢谷雨量観測所 記録雨量
97mm (時間最大雨量 8/1 15:00～16:00)
1,582mm (累加雨量 :7/31 0:00～8/2 23:00)



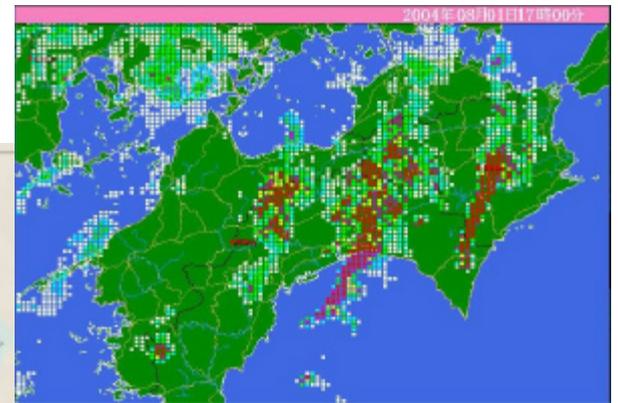
溜井雨量観測所 記録雨量
67mm (時間最大雨量 :7/31 18:00～19:00)
918mm (累加雨量 :7/31 12:00～8/2 12:00)



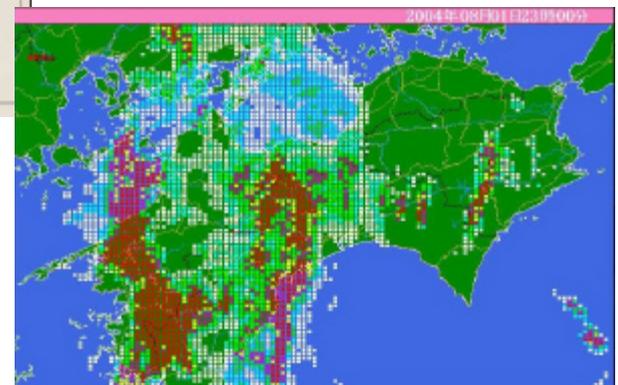
愛媛県目黒雨量観測所 記録雨量
118mm (時間最大雨量8/1 23:00～0:00)
390mm (累加雨量 :7/31 16:00～8/2 8:00)



7月31日 16時



8月1日 17時



8月2日 22時

上那賀町白石



那賀川



木沢村坂州



坂州木頭川

大用知谷川

豪雨災害に対する防災対策推進のため検討すべき課題及びその対策について

平成16年7月26日
平成16年7月梅雨前線豪雨
災害対策関係省庁局長会議

1. 今回の豪雨災害の実態を検証しつつ、下記の課題を中心に必要な対策を検討し、実行できるものから速やかに実施

1) 豪雨災害時の防災情報の伝達・提供の迅速化・確実化に関すること

着手済	速やかに着手	一定準備期間を経て着手
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線（同報系）の普及促進 ・地上デジタル放送による携帯端末向け放送の利活用の検討 ・ハザードマップの作成・活用の促進 ・重要水防箇所情報の周知 ・土砂災害情報相互通報システム事業の実施 ・電気通信サービスの障害等の迅速な情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・要員派遣を含めた国と自治体との連携強化 ・避難勧告・指示、避難行動マニュアルの整備 ・評価指針策定を含めた市町村の防災力強化推進 ・多様な手段を用いた避難支援情報提供の強化 ・水害に対する住民等の理解の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図表示等によるわかりやすい防災情報の提供・共有化 ・洪水時の水位危険度や浸水等情報のリアルタイム提供 ・地上デジタル放送等を活用した防災情報提供手法の検討 ・土砂災害警戒情報の提供の本格実施

2) 災害時に高齢者等が安全かつ迅速に避難できる体制の整備に関すること

着手済	速やかに着手	一定の準備期間を経て着手
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等早期避難のための消防団等の充実強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等災害時要援護者の避難支援ガイドラインの策定 ・高齢者等の早期避難のための水位等の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防活動における避難誘導支援の充実

3) 河川堤防の点検・整備をはじめ総合的な治水対策の推進に関すること

着手済	速やかに着手	一定の準備期間を経て着手
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防等の目視による緊急点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小河川における堤防点検・対策ガイドラインの策定 ・堤防等の点検と弱部の緊急強化対策 	

4) 局所的集中豪雨に係る観測・予報体制等の充実強化に関すること

着手済	速やかに着手	一定の準備期間を経て着手
<ul style="list-style-type: none"> ・防災気象情報の精度の向上 ・市町村防災対応を支援する防災気象情報の提供 ・洪水予報河川の指定の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小流域の河川における実用的な洪水予測の検討 ・浸水予測情報提供の検討 	

5) その他

着手済	速やかに着手	一定の準備期間を経て着手
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の支援強化 ・ゴムボート等の救助資機材の確保や排水ポンプ車等による応急対策支援 ・緊急消防援助隊、広域緊急援助隊(警察)の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点となる公共施設の安全性確保・被災(水没)対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・NPO等の防災活動への参画の検討

2. 検討及び対策の実施状況については、内閣府政策統括官(防災担当)を議長とする「平成16年7月梅雨前線豪雨災害対策関係省庁局長会議」で随時とりまとめ、中央防災会議に報告する。

地域の水害対応力の強化

新潟・福島、福井豪雨災害を踏まえた

判断・行動に役立つリアルタイム情報の提供

地域水防力の強化

堤防対策

課題	施策の方向	今後の新たな措置
判断・行動に役立つリアルタイム情報の提供	集中豪雨予報の早期・詳細な提供	<ul style="list-style-type: none"> ・新型レーダー等による雨雲の発生・発達の詳細な監視 ・予報情報のメッシュを10km四方から5km四方に詳細化し、早期に提供
	水位や浸水の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる河川水位だけでなく、危険の程度を実感できる情報(過去の水害との比較,水位の上昇スピード等)、浸水の状況、とるべき行動の情報を提供
	土砂災害の警戒情報	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨予測と連動した土砂災害発生の警戒情報を発表
	平常時における啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村によるハザードマップ作成への支援と住民への周知 ・堤防弱部の位置・内容を住民に情報提供
地域水防力の強化	住民への伝達方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやダム放流警告のための河川沿いのスピーカー、電光掲示板等多様な手段を用いて、避難支援情報(市町村の避難勧告等を含む)を提供 ・高齢者等が避難に要する時間を加味した情報提供方法の検討 ・国土交通省光ファイバと地上デジタル放送を活用して直接家庭に双方向データを提供できる技術開発(実証実験)
	水防体制の強化 避難誘導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・企業やNPO等を水防協力団体に位置づけ、水防体制を強化 ・水防活動において高齢者等を避難誘導(活動範囲の明確化) ・高齢者等の被災実態調査や避難支援の在り方等の検討(関係省庁と連携)
堤防対策	河川堤防等の安全確認	<ul style="list-style-type: none"> ・16年8月中に全国で目視による緊急点検を行い、補修の実施(都道府県にも要請) ・中小河川の堤防点検・対策ガイドラインを作成、既設堤防の質的強化対策に係る制度拡充により堤防強化を本格実施(17年)

多様な情報の提供

避難勧告についての市町村の判断を支援

高齢者など住民の自主的な判断・行動を支援

【新潟、福井等被災地における対応】

激甚災害の指定

被害額の査定作業の迅速化

本格的な復旧

仮復旧箇所の本格復旧

同様の水害の再発防止

緊急に集中して河川改修等を実施し、治水安全度を向上